

保育者育成指標 1.2

信州幼児教育支援センター

長野県教育委員会

令和4年4月

保育者育成指標 1.2 の策定について

近年、幼児期をめぐっては、生涯にわたる学びと人格形成の基盤を培う時期であるという認識が高まり、幼稚園、保育所、認定こども園等の園種を超え、幼児教育の質の向上を図る必要が生じています。

保育者は、一人一人の子どもの「今」と「未来」を想像し、子どもの主体性を支え、子どもと共に子どもの「今」を創造していくことが求められています。子どもの成長に関わる主体として、やりがいを感じ、自らが目指す保育像に向かって自己実現を図り、学び続ける存在でありたいものです。

信州幼児教育支援センターでは、保育者の自己実現を支え、幼児教育の質の向上を図るため、園種を越え、キャリアステージに応じて保育者として目指したい資質能力を俯瞰的に示す保育者育成指標 1.0 を令和3年3月に作成しました。さらに、保育者育成指標に示された保育者が目指したい姿の理解を深めるため、「3つのポイント」を示し、保育者育成指標 1.2 へと更新しました。

保育者育成指標策定の目的

- ◆各市町村や関係団体で行われている研修において、育成指標を活用
- ◆育成指標を参考に、各市町村や関係団体で行われている研修を見直す
- ◆各市町村や関係団体からのフィードバックを基に、育成指標をブラッシュアップ



- 自分の目指す保育者像を描き、学び続ける保育者を支援
- スリムでキャリアアップ性の高い研修体系を構築

目 次

保育者育成指標 1.2 の策定について	1
保育者のキャリアステージ	2
目指す子ども像	3
保育者育成指標 1.2	4
キャリアステージにおける自己チェックシート	5～9

※育成指標 1.2 に基づいた自己チェックシートを作成しました。
園内で定期的を使用したり、各研修で活用したりしてみましょう。

保育者のキャリアステージ

長野県では、保育者のキャリアステージを「基礎形成期」、「伸長期」、「充実期」、「次世代育成期・管理職期」に区分し、それぞれのキャリアステージの高まりを示しています。スキルの向上は、必ずしも年代や経験年数によるものではないので、「相当」という言葉を用いて幅をもたせています。

保育者のキャリアステージ

次世代育成期相当
管理職期相当

○第Ⅳ期 次世代育成期相当／管理職期相当

次世代育成期・管理職期は、保育者としての人間力をさらに向上させ、豊富な経験を生かし、多面的・多角的な視野をもって組織的な運営を推進していく時期です。園運営や、他の保育者への助言や支援、園の教育・保育課題の解決を行い、園や地域全体の保育力を向上させるリーダーとしての役割を担います。

充実期相当
(経験10年程度から)

○第Ⅲ期 充実期相当

充実期は、園の中核となる保育者としての自覚をもち、組織マネジメントやリスクマネジメントなどの力を身に付け、それらを発揮していく時期です。チームとしての園への貢献度を高め、園内研修の充実を図りながら、園の保育力を高めます。

伸長期相当
(経験3年から10年程度)

○第Ⅱ期 伸長期相当

伸長期は、保育実践力をさらに身に付け、これまでの自分の実践を見返しながら、専門性を高めていく時期です。学年(クラス)のグループリーダーとして、同僚性を高めたり、推進力を発揮したりしていきます。

基礎形成期相当
(経験1年から3年程度)

○第Ⅰ期 基礎形成期相当

基礎形成期は、保育・幼児教育について基礎的・基盤的な力を身に付け、実践力を磨く時期です。質の高い保育・幼児教育に触れ、先輩や同僚から学びながら、常に新たな視点を身に付けていきます。

着任時

○着任時に求める姿

養成期

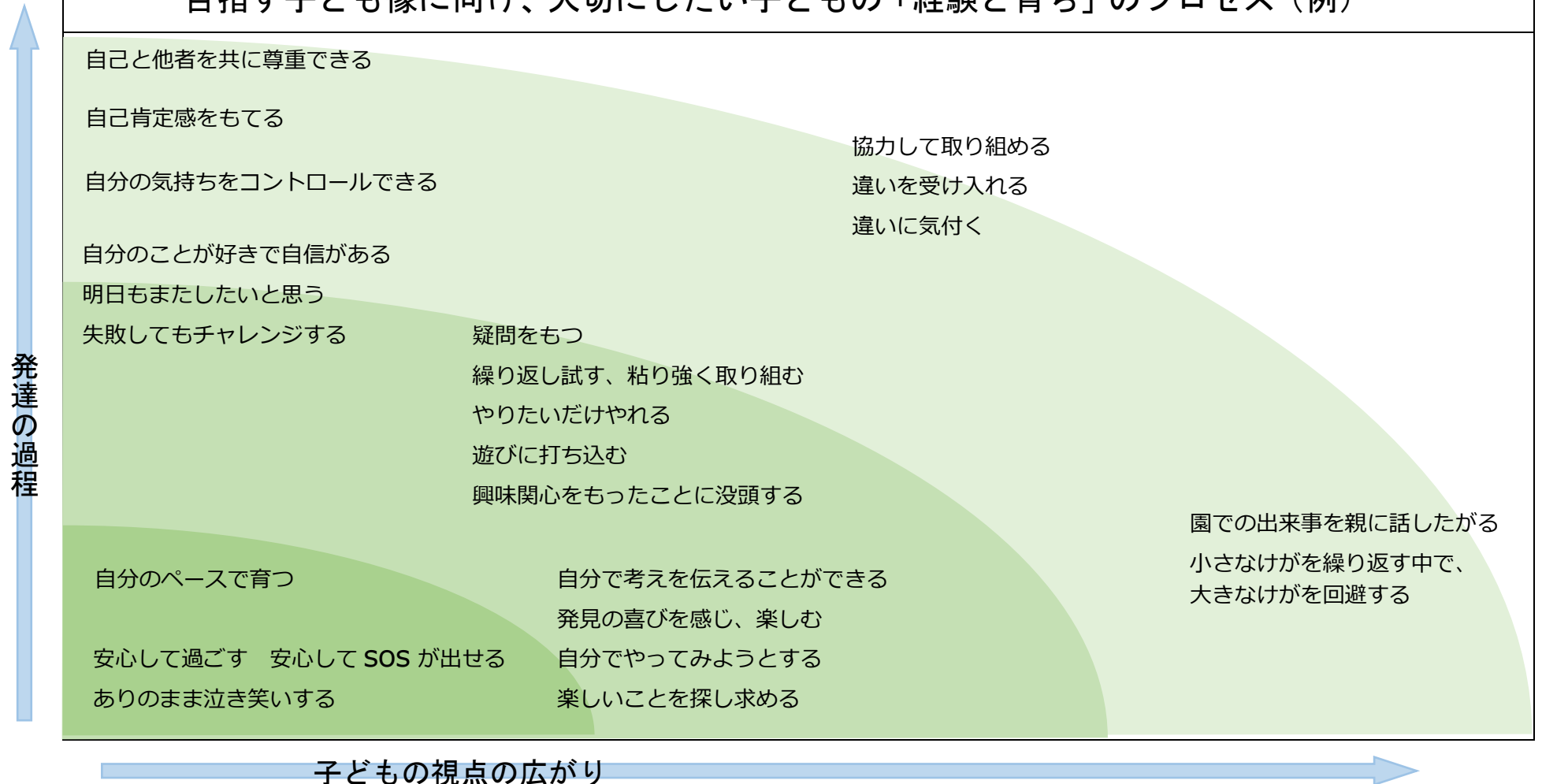
○養成期

主に大学等での教員養成の段階で身に付けます。

目指す子ども像

「笑顔かがやき、夢中になって遊ぶ子ども」

目指す子ども像に向け、大切にしたい子どもの「経験と育ち」のプロセス（例）



保育者育成指標1.2

①～⑱の項目をクリックすると解説動画へアクセスできます。 ①自己実現

	保育者としての姿勢	指導力向上							保護者や地域との共育				園の運営力・組織貢献力		健康・安全				
		①自己実現	②愛情深い保育	③子ども理解	④援助・支援	⑤環境の構成	⑥教材研究	⑦やまほいく	⑧指導計画の作成と保育展開・評価	⑨関係諸機関との連携	⑩園・小の接続	⑪教育・保育実習指導	⑫保護者との連携・協力	⑬地域における子育て支援	⑭地域との連携	⑮園務分掌	⑯保育者間の連携	⑰健康・食育	⑱安全管理
各キャリアステージ	目指したい姿	インクルーシブ保育		インクルーシブ保育		インクルーシブ保育		インクルーシブ保育		インクルーシブ保育		インクルーシブ保育		マネジメント					
	3つのポイント	自己課題や願いをもつ 自分の学びや成長を楽しむ 社会の変化に目を向ける	温かいまなざし いいよ、それもいいよ 喜び合う	よく見る 尊重する 一緒に	一人一人の興味関心に目を向ける 子どもの思いや育ちをつなぐ みんなでの子どもの姿を分かち合う			五感を全て使って自然を感じる 身近な暮らしに対するまなざし 自然の一部であることに気付く				安心できる雰囲気づくり 記録や対話を通して学び合う 実習生と一緒に過ごす場づくり						健康・食育の知識を踏まえ、実践しようとする姿	子どもが安心して過ごすことができる施設や道具等の安全な環境を整え、危機に対応しようとする姿
IV 管理職期相当	園運営や園全体の課題解決を行う	一人一人の保育者の自己実現の場を確保し、園全体の学び合う雰囲気をつくる(他国及び国や県の動向)	保育者一人一人のよさや能力を把握し、子どもと保育者の信頼関係の築きを支える	保育者が一人一人のよさや可能性を感じ取り、子ども理解を中心とした保育について学び合いの場をつくる	保育者が子ども理解の基に、一人一人に応じた援助を適切に行えるよう、学び合いの場をつくる	地域や園の実践を踏まえ、よりよい保育の実現に向けて、環境の維持改善に努める	園全体の物的空間環境に目を配り、必要に応じて豊かな園環境をつくる	子どもが主体的に自然の中で遊んだり、身近な資源に触れながら学ぶために、研修等によって園全体の自然体験や園全体での学び合いの場をつくる	関係機関との専門性の違いを理解し、相互理解のもと、必要に応じて連携体制を整える	育みたい資質・能力について理解し、園内外に積極的に働きかける	養成校と実習のあり方に関する相互理解や連携を図る	必要に応じて関係機関と連携しながら、組織として保護者を支援できる体制を整える	子育てに関する地域の人材との連携・協働を図りながら、園の特徴を生かした子育て支援の充実を努める	地域の人材や文化を活用し、特色ある保育の充実を図ろうとする姿	園の課題を踏まえ、園務分掌の改善を図る(ICT活用を含む)	保育者一人一人のよさを生かした役割を意識して、保育者間の連携が深まる体制づくりに努める	健康・食育の重要性を理解し、園内外の体制を整える	危機を予測し、危機管理のためのマニュアルを整備し、園内体制を確立する	
次世代育成期相当	他の保育者への助言や支援、園全体の課題解決を行う	自己課題をもって自分の実践をまとめるなど、同僚へ自己研修の大切さを示す	子どもとの信頼関係の築き方について、同僚と語り合い、具体的に示す	子ども一人一人の発達や個人差に基づいて、子どもを理解するよう具体的に示す	集団の中で育ち合う子ども一人一人に応じた援助について、同僚へ具体的に示す	子どもの状況に応じた環境の設定について、同僚と語り合う	園の行事など、長期的計画の見直しを、子どもの姿や園の状態から、提示する	関係機関との専門性の違いを理解し、関係機関との連携の具体について調整する	育みたい資質・能力について理解し、カリキュラム等の見直しを図る	必要に応じて実習担当者に助言し、実習生育成を援助する	保護者と協働した子育てについて、実践と理論を基に、同僚と語り合う	地域の人材や文化を生かした保育について、同僚と積極的に情報共有する	同僚と協働的に園務遂行しながら、組織の一員としての意識を高める	連携のための具体的な方法を工夫し、同僚と語り合うとともに、よさを引き出す			健康・食育の重要性を理解し、実践するとともに、積極的に必要な情報を発信する	園全体の危機管理について自分の役割を理解し、危険に気付き、行動する	
III (程度から) 10年程度	全園的な視野に立った資質・指導力を身に付ける	自己課題をもって保育に取り組み、研修に参加するとともに、園内研修において中心的な役割を果たし、質の向上を図る(国や県の動向)	子どもとの信頼関係の築き方について、保育者が学び合える場をつくる	発達や個人差の観点から子どもを理解し、保育者が子ども理解を中心とした保育を進められるようにする	保育者のモデルとなり、子どもたち(集団)の援助をするとともに、子ども一人一人に応じた適切な援助を行う	他クラスや他学年の保育の展開を意識して、園全体の環境を視野に入れて豊かなものや人との関わりを生み出す実践を行う	園の行事などで実践の中心的な役割を果たしながら、長期的計画を見直していく	園内の話し合いの中心的な役割を果たし、協力体制の推進役になる	育みたい資質・能力について理解し、子どもの育ちを伝える	実習生の状況や課題に応じて指導する	保護者同士の関係をつなぎ、保護者が育ち合う場を提供する	様々な機会を通して子どもや保護者と地域とのつながりを深めていく	園務について理解を深め、よりよい実践に向けて、園務を遂行しながら改善を提案する	それぞれの立場を理解し合い、よりよい実践になるよう保育者間の連携を図る	健康・食育の重要性を理解し、実践するとともに、積極的に必要な情報を発信する	栄養士・調理員・看護師等と連携し、豊かな健康・食環境を創造する			
II (程度から) 10年程度	身に付けた知識や技術を生かし、実践力を高める工夫をする	自己課題をもって保育に取り組むとともに、園内研修において同僚と課題を共有する	子どもの思いを受け止め、子どもが安心して環境に働かせることができるようにする	子どもの発達や個人差を理解し、一人一人のよさや可能性を把握する	個と集団の育ちを意識して、一人一人の発達や個人差を捉え、必要な援助を行う	子どものつばやきなどから活用できる環境を探り、実践を展開することを楽しく行う	向上心をもって教材研究に取り組む、個々の育ちに応じた保育が展開されるための教材の準備をしたり、同僚の相談に応じたりする	自然や身近な資源に対する関心を高め、自ら進んでフィールド等での環境設定を行うとともに、戸外での危機管理能力を高める	カリキュラムを踏まえ、子どもの姿を見通しながら、連続性のある保育を行う	記録や評価を的確に行い、実態に応じた対応・学級経営・協力体制づくりを行うため、専門的知識をもって関係機関と連携する	担当する実習生に対して、実習の段階に応じて指導する	相談しやすい雰囲気をつくり、保護者の相談を受容的に受け止め、適切な助言をする	園を訪れる地域の保護者等に対して、親しみをもって、気持ちよく利用・相談できるように工夫を凝らす	地域の人材や文化を生かし、自らの保育を豊かにしていく	園務について理解を深め、同僚と連携しながら、組織の一員として園務の遂行に努める	同僚と相談しながら内容を共有し、協力・連携して、保育を進めていく			
I (程度から) 3年程度	基礎的知識を身に付け、実践と結びつけた実践の幅を広げる	日々の保育の計画や振り返りを丁寧に行い、自らの課題をもち、研鑽に努める	子どもの思いを受け止め、子どもとの信頼関係を築く	子どもと共に行動し、子どもの思いや気持ちを丁寧に感じ取ろうとする	日常の姿から一人一人の発達や個人差を理解し、その援助を工夫する	子どもの姿や活動の展開を予測して環境の構成、再構成をする	子どもの育ちを理解し、子どものものや人との関わりを深めるための遊びや用具を工夫して活動を豊かにする	身近な自然をはじめとするあらゆる資源と意欲的にふれあい、保育に生かそうとする	反省・記録を基に、指導計画を構想し、評価を繰り返しながら、発達の見通しをもった保育を展開する基礎力を身に付ける	地域にある施設・機関とその働きについて理解し、保護者に説明する	幼児期の終わりまでに育ってほしい姿を理解して実践する	実習生の身近なモデルとして、保育者としての基本的姿勢を示す	子どもの様子や子どもらの考えや子どもらの姿を伝え、保護者との良好な関係を築く	園を訪れる地域の保護者等に対して、挨拶や温かい雰囲気ですぐに接する	地域の人材や文化について知り、積極的に保育に取り入れる	園の組織についての理解を深め、園務の一部を担い、責任をもって役割を果たそうとする	自分の考えを伝えるとともに、相手の立場を理解しながら仕事を進めていく	健康・食育についての理解を深め、マニュアルに沿った環境を整えたり、自分の役割を果たしたりする	危機管理についての理解を深め、マニュアルに沿った環境を整えたり、自分の役割を果たしたりする
求めている時に	一人一人の生きる力を育むため、遊びや生活を子どもと共に創造し、子育てを支える人間性豊かな保育者																		
0期 養成期	保育者としての土台となるもの																		

※「インクルーシブ保育」②③④⑨は、保育士等キャリアアップ研修における「障がい児保育」に該当します。「マネジメント」⑮⑯は、保育士等キャリアアップ研修における「マネジメント」に該当します。

キャリアステージにおける自己チェックシート 【 I 基礎形成期相当 】

園名 ()

回目 月 日 氏名 ()

評価のめやす： 4 大変良い 3 良い 2 やや不十分 1 不十分

	カテゴリー	チェック項目	評価 (○印)				評価理由等
			4	3	2	1	
保育者としての姿勢	①自己実現	・日々の保育の計画や振り返りを丁寧に行い、自らの課題をもち、研鑽につとめている。					
	②愛情深い保育	・子どもの思いを受け止め、子どもとの信頼関係を築こうとしている。					
	③子ども理解	・子どもと共に行動し、子どもの思いや気持ちを丁寧に感じ取ろうとしている。					
指導力向上	④援助・支援	・日常の姿から、一人一人の発達や個人差を理解し、その援助を工夫しようとしている。					
	⑤環境の構成	・子どもの姿や活動の展開を予測して、環境の構成、再構成をしようとしている。					
	⑥教材研究	・子どもの育ちを理解し、子どものものや人との関わりを深めるための遊具や用具を工夫して活動を豊かにしようとしている。					
	⑦やまほいく	・身の周りの自然物と意欲的にふれあい、保育に生かそうとしている。					
	⑧指導計画の作成と保育展開・評価	・反省・記録を基に指導計画を構想し、評価を繰り返しながら、発達の見通しをもった保育を展開しようとしている。					
	⑨関係諸機関との連携	・地域にある施設・機関とその働きについて理解し、保育者に説明しようとしている。					
	⑩園・小の接続	・幼児期の終わりまでに育ってほしい姿を理解して実践しようとしている。					
保護者や地域との共育	⑪教育・保育実習指導	・実習生の身近なモデルとして、保育者としての基本的姿勢を示そうとしている。					
	⑫保護者との連携・協力	・子どもの様子を伝える中で、保護者に保育の考えや子どもの姿を伝え、保護者との良好な関係を築こうとしている。					
	⑬地域における子育て支援	・園を訪れる地域の保護者に対して、気持ちのよい挨拶や温かい雰囲気ですれようとしている。					
園の運営能力・組織貢献力	⑭地域との連携	・地域の人材や文化について知り、積極的に保育に取り入れようとしている。					
	⑮園務分掌	・園の組織についての理解を深め、園務の一部を担い、責任をもって役割を果たそうとしている。					
健康・安全	⑯保育者間の連携	・自分の考えを伝えるとともに、相手の立場を理解しながら仕事を進めようとしている。					
	⑰健康・食育	・健康・食育についての理解を深め、マニュアルに沿って対応したり、自分の役割を果たしたりしようとしている。					
	⑱安全管理	・危機管理についての理解を深め、マニュアルに沿った環境を整えたり、自分の役割を果たしたりしようとしている。					

キャリアステージにおける自己チェックシート 【Ⅱ 伸長期相当】

園名 ()

回目 月 日 氏名 ()

評価のめやす： 4 大変良い 3 良い 2 やや不十分 1 不十分

カテゴリー	チェック項目	評価 (○印)				評価理由等
		4	3	2	1	
保育者としての姿勢	①自己実現	・自己課題をもって保育に取り組むとともに、園内研修において同僚と課題を共有しようとしている。				
	②愛情深い保育	・子どもの思いを受け止め、子どもが安心して環境に働きかけることができるようにしている。				
	③子ども理解	・子どもの発達や個人差を理解し、一人一人のよさや可能性を把握しようとしている。				
指導力向上	④援助・支援	・個と集団の育ちを意識して、一人一人の特性や発達を捉え、必要な援助を行おうとしている。				
	⑤環境の構成	・子どものつぶやきなどから活用できる環境を探り、実践を展開することを楽しんで行おうとしている。				
	⑥教材研究	・向上心をもって教材研究に取り組み、個々の育ちに応じた保育が展開されるための教材の準備をしたり、同僚の相談に応じたりしようとしている。				
	⑦やまほいく	・自然に対する関心を高め、自ら進んでフィールド等での環境設定を行うとともに、戸外での危機管理能力を高めようとしている。				
	⑧指導計画の作成と保育展開・評価	・カリキュラムを踏まえ、子どもの姿を見通しながら、連続性のある保育を行おうとしている。				
	⑨関係諸機関との連携	・記録や評価を的確に行い、実態に応じた対応・学級経営・協力体制づくりを行うため、専門的知識をもって関係機関と連携しようとしている。				
	⑩園・小の接続	・育みたい資質・能力について理解し、学びや発達を見通した計画及び実践を行おうとしている。				
保護者や地域との共育	⑪教育・保育実習指導	・担当する実習生に対して、実習の段階に応じて指導しようとしている。				
	⑫保護者との連携・協力	・相談しやすい雰囲気をつくり、保護者の相談を受容的に受け止め、適切な助言をしようとしている。				
	⑬地域における子育て支援	・園を訪れる地域の保護者等に対して、親しみをもって応じ、気持ちよく利用・相談できるような雰囲気づくりに心掛けている。				
園の運営力・組織貢献力	⑭地域との連携	・地域の資源を生かし、自らの保育を豊かにしようとしている。				
	⑮園務分掌	・園務について理解を深め、同僚と連携しながら、組織の一員として園務の遂行に努めている。				
健康・安全	⑯保育者間の連携	・同僚と相談しながら内容を共有し、協力・連携して、保育を進めようとしている。				
	⑰健康・食育	・健康・食育の重要性を理解し、実践するとともに、積極的に必要な情報を発信しようとしている。 ・栄養士・調理員・看護師等と連携し、豊かな健康・食環境を創造しようとしている。				
	⑱安全管理	・園全体の危機管理について自分の役割を理解し、危険に気付き、行動しようとしている。				

キャリアステージにおける自己チェックシート 【Ⅲ 充実期相当】

園名 ()

回目 月 日 氏名 ()

評価のめやす： 4 大変良い 3 良い 2 やや不十分 1 不十分

カテゴリー	チェック項目	評価 (○印)				評価理由等
		4	3	2	1	
保育者としての姿勢	①自己実現	・自己課題をもって保育に取り組み、研修に参加するとともに、園内研修において中心的な役割を果たし、質の向上を図ろうとしている。(国や県の動向の把握を含む)				
	②愛情深い保育	・子どもとの信頼関係の築き方について、保育者が学び合える場をつくろうとしている。				
	③子ども理解	・発達や個人差の観点から子どもを理解し、保育者が子ども理解を中心とした保育を進められるようにしている。				
指導力向上	④援助・支援	・保育者のモデルとなり、子どもたち(集団)の援助をするとともに、子ども一人一人に応じた適切な援助を行おうとしている。				
	⑤環境の構成	・他クラスや他学年の保育の展開を意識して、園全体の環境を視野に入れて豊かなものや人との関わりを生み出す実践を行おうとしている。				
	⑥教材研究	・必要な教材について同僚と一緒に考え、子どもの育ちに応じた教材や援助法を説明できるよう努めている。(ICT活用を含む)				
	⑦やまほいく	・周囲の自然環境を生かし、遊びや活動に取り入れ、これまでの経験や知識を基に、自ら考えることのできるように同僚と語り合うよう努めている。				
	⑧指導計画の作成と保育展開・評価	・園の行事などで実践の中心的な役割を果たしながら、長期の計画を見直していこうとしている。				
	⑨関係諸機関との連携	・園内の話し合いの中心的な役割を果たし、協力体制の推進役となるよう努めている。				
	⑩園・小の接続	・育みたい資質・能力について理解し、子どもの育ちを伝えようとしている。				
	⑪教育・保育実習指導	・実習生の状況や課題に応じて指導しようとしている。				
保護者や地域との共育	⑫保護者との連携・協力	・保護者同士の関係をつなぎ、保護者が育ち合う場を提供しようとしている。				
	⑬地域における子育て支援	・子育ての様子を受け止め、必要な支援・援助をしようとしている。				
	⑭地域との連携	・様々な機会を通して子どもや保護者と地域とのつながりを深めていこうとしている。				
園の運営力・組織貢献力	⑮園務分掌	・園務について理解を深め、よりよい園経営に向けて、園務を遂行しながら改善を提案しようとしている。				
	⑯保育者間の連携	・それぞれの立場を理解し合い、よりよい実践になるよう保育者間の連携を図ろうとしている。				
健康・安全	⑰健康・食育	・健康・食育の重要性を理解し、実践するとともに、積極的に必要な情報を発信しようとしている。 ・栄養士・調理員・看護師等と連携し、豊かな健康・食環境を創造しようとしている。				
	⑱安全管理	・園全体の危機管理について自分の役割を理解し、危険に気付き、行動しようとしている。				

キャリアステージにおける自己チェックシート 【Ⅳ 次世代育成期相当】

園名 ()

回目 月 日 氏名 ()

評価のめやす： 4 大変良い 3 良い 2 やや不十分 1 不十分

カテゴリー	チェック項目	評価 (○印)				評価理由等
		4	3	2	1	
保育者としての姿勢	①自己実現	・自己課題をもって自分の実践をまとめるなど、同僚へ自己研鑽の大切さを示すよう努めている。				
	②愛情深い保育	・子どもとの信頼関係の築き方について、同僚と語り合い、具体的に示すよう努めている。				
	③子ども理解	・子ども一人一人の発達や個人差に基づいて、子どもを理解するよう具体的に示すよう努めている。				
指導力向上	④援助・支援	・集団の中で育ち合う子ども一人一人に応じた援助について、同僚へ具体的に示すよう努めている。				
	⑤環境の構成	・子どもの状況に応じた環境の設定について、同僚と語り合うよう努めている。				
	⑥教材研究	・必要な教材について同僚と一緒に考え、子どもの育ちに応じた教材や援助法を説明できるよう努めている。(ICT活用を含む)				
	⑦やまほいく	・周囲の自然環境を生かし、遊びや活動に取り入れ、これまでの経験や知識を基に、自ら考えることのできるように同僚と語り合うよう努めている。				
	⑧指導計画の作成と保育展開・評価	・園の行事など、長期的計画の見直しの具体を、子どもの姿や園の状態から提示するよう努めている。				
	⑨関係諸機関との連携	・関係機関との専門性の違いを理解し、関係機関との連携の具体について調整するよう努めている。				
	⑩園・小の接続	・育みたい資質・能力について理解し、カリキュラム等を見直しを図るよう努めている。。				
	⑪教育・保育実習指導	・必要に応じて実習担当者に助言し、実習生育成を援助しようとしている。				
保護者や地域との共育	⑫保護者との連携・協力	・保護者と協働した子育てについて、実践と理論を基に、同僚と語り合うよう努めている。				
	⑬地域における子育て支援	・子育ての様子を受け止め、必要な支援・援助をしようとしている。				
	⑭地域との連携	・地域の資源を生かした保育について、同僚と積極的に情報共有しようとしている。				
園の運営能力・組織運営能力	⑮園務分掌	・同僚と協働的に園務遂行しながら、組織の一員としての意識を高めている。。				
	⑯保育者間の連携	・連携のための具体的な方法を工夫し、同僚からの相談に応じて、皆で語り合うよう努めている。				
健康・安全	⑰健康・食育	・健康・食育の重要性を理解し、実践するとともに、積極的に必要な情報を発信しようとしている。 ・栄養士・調理員・看護師等と連携し、豊かな健康・食環境を創造しようとしている。				
	⑱安全管理	・園全体の危機管理について自分の役割を理解し、危険に気付き、行動しようとしている。				

キャリアステージにおける自己チェックシート 【Ⅳ 管理職期相当】

園名 ()

回目 月 日 氏名 ()

評価のめやす： 4 大変良い 3 良い 2 やや不十分 1 不十分

カテゴリー	チェック項目	評価 (○印)				評価理由等
		4	3	2	1	
保育者としての姿勢	①自己実現	一人一人の保育者の自己実現の場を確保し、園全体の学び合う雰囲気をつくるよう努めている。				
	②愛情深い保育	保育者一人一人のよさや可能性を感じ取り、子どもと保育者の信頼関係の築きを支えるよう努めている。				
	③子ども理解	保育者が一人一人のよさや可能性を感じ取り、子ども理解を中心とした保育について学び合いの場をつくるよう努めている。				
指導力向上	④援助・支援	保育者が子ども理解の基に、一人一人に応じた援助を適切に行えるよう、学び合いの場をつくるよう努めている。				
	⑤環境の構成	地域や園の実践を踏まえ、よりよい保育の実現に向けて、環境の維持改善に努めている。				
	⑥教材研究	園全体の物的空間環境に目を配り、必要に応じて豊かな園環境をつくるよう努めている。				
	⑦やまほいく	子どもが主体的に自然の中で遊び、学ぶために、研修等によって園全体の自然体験力向上を図るよう努めている。				
	⑧指導計画の作成と保育展開・評価	保育者が教育・保育課程を踏まえてよりよい実践ができる園環境をつくるよう努めている。				
	⑨関係諸機関との連携	関係機関との専門性の違いを理解し、相互理解のもと、必要に応じて連携体制を整えるよう努めている。				
	⑩園・小の接続	育みたい資質・能力について理解し、園内外に積極的に働きかけるよう努めている。				
保護者や地域との共育	⑪教育・保育実習指導	養成校と実習のあり方に関する相互理解や連携を図るよう努めている。				
	⑫保護者との連携・協力	必要に応じて関係機関と連携しながら、組織として保護者を支援できる体制を整えるよう努めている。				
	⑬地域における子育て支援	子育てに関する地域の人材との連携・協働を図りながら、園の特徴を生かした子育て支援の充実に努めている。				
園の運営力・組織貢献力	⑭地域との連携	地域との信頼関係を築き、地域の資源を活用した園づくりを進めるよう努めている。				
	⑮園務分掌	園の課題を踏まえて、園務分掌の改善を図るよう努めている。(ICT活用を含む)				
健康・安全	⑯保育者間の連携	保育者一人一人のよさを生かした役割を意識して、保育者間の連携が深まる体制づくりに努めている。				
	⑰健康・食育	健康・食育の重要性を理解し、園内外の体制を整えるよう努めている。				
	⑱安全管理	危機を予測し、危機管理のためのマニュアルを整備し、園内体制を確立するよう努めている。				